

2023年10月11日

輸送動向について（2023年度上半期）

1. 輸送概況

新型コロナウイルス感染症の行動制限は緩和されたが、原材料費高騰に伴う物価上昇等により国内消費の回復が鈍いことに加え、夏季に大雨による山陽線不通や台風の影響を受けた。

コンテナは、自動車部品が半導体不足の解消が進み自動車生産が回復傾向にあることから前年を上回った他、農産品・青果物が前年に奥羽線不通による減送が発生していたことから本年は増送となった。一方で、化学薬品及び化学工業品は製品値上げと原材料費高騰による需要減の影響を受けて低調に推移したほか、紙・パルプは需要の低迷による生産減により前年を下回った。コンテナ全体では前年比98.1%となった。

車扱は、石油が行楽需要の回復によりガソリンを中心に増送となった他、セメント・石灰石が顧客工場の修繕時期の変更により増送となった。車扱全体では前年比108.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比101.1%となった。

2. 輸送実績

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	8,724	8,893	98.1%
車 扱	3,880	3,579	108.4%
合 計	12,605	12,473	101.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	626	603	23	103.9%
	化学工業品	753	790	-36	95.3%
	化学薬品	535	607	-71	88.2%
	食料工業品	1,475	1,489	-14	99.0%
	紙・パルプ	982	1,003	-21	97.8%
	他工業品	609	635	-26	95.8%
	積合せ貨物	1,537	1,533	3	100.3%
	自動車部品	331	309	21	107.1%
	家電・情報機器	172	173	-1	99.4%
	エコ関連物資	197	211	-14	93.2%
	その他	1,502	1,535	-32	97.9%
コンテナ計	8,724	8,893	-169	98.1%	
車 扱	石油	2,527	2,435	91	103.8%
	セメント・石灰石	760	553	207	137.4%
	車 両	349	355	-5	98.4%
	その他	242	234	8	103.6%
	車 扱 計	3,880	3,579	301	108.4%
合 計		12,605	12,473	132	101.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)